
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.426 2024/12/17

1 米マクドナルドで提供されたタマネギに関連した大腸菌感染アウトブレイクに関し、
CDCが収束を発表

12月3日、米疾病対策センター(CDC)は、大手ハンバーガーチェーンのマクドナルドが販売した「クォーターパウンダー」に関する集団食中毒について、流行が収束したと発表しました。

今回の集団食中毒は腸管出血性大腸菌0157によるもので、カリフォルニア州の食品メーカーが供給したスライスタマネギが原因とみられます。10月22日に調査が始まって以来、14の州で104人の患者が報告されました。このうち34人が入院し、少なくとも4人が腎不全を引き起こす可能性がある「溶血性尿毒症症候群（HUS）」を発症しました。また、コロラド州の高齢者1人が死亡しました。

食品医薬局(FDA)も、今回の食中毒に関連する食品安全上の懸念は払拭されたとして、調査の終了を発表しました。

[E. coli Outbreak Linked to Onions Served at McDonald's | E. coli infection | CDC](#)

<https://www.fda.gov/food/outbreaks-foodborne-illness/outbreak-investigation-e-coli-0157h7-onions-october-2024>